

今日は！ DZIEN DOBRY！

◀ホストファミリーの家でパーティー



「フアンタステイック・ランド」

私は、昨年十月七日にポーランドから日本まで参りました。ポーランドは、ドイツと旧ソ連の間にあるヨーロッパの国で、人口は四千万人です。北の国境はバルチック海で、南の国境はカルパチア山脈です。首都はヴァルシャです。

「日がのぼる」国に来たのは初めてです。私は日本や日本の文化に関する多くの本を読みました。また、映画で、昔の日本や現代の日本を観ました。このように、あらかじめ必要な知識が、日本という国に対して、私に大変多くの印象を与えました。

私は美しい日本の風景を通ってきました。新幹線で大阪から西条に来るまでの間、私の目は窓の外に広がる風景にくぎ付けになり、目を離す

私の目で見た日本

学校 教育学部
障害児教育研究室 研究生

エバ・クレシア



ことができませんでした。豊かな木でおおわれた、とても美しい丘がひろがっていました。丘の間には村や町が見えました。それらすべてがよく調和していました。私にはそれらがレゴブロックでできたもののように見えました。簡単に言ってしまうえば「フアンタステイック・ランド」でした。現在でもなお、私は日本の自然に魅せられています。

とても刺激的で、少し困難な、最初の日本滞在

広 島大学に来たのちは、多くの人たちが世話をしてくれました。学生のボランティア、ホスト・ファミリー、それに先生たちです。学生ボランティアは、入学時のいろいろな手続きを手伝ってくれました。ホスト・ファミリーは、私を家庭的にもてなしてくれました。先生たちは、私に日本語と日本の文化へ導入してくれました。彼らは私をあたたく受け入れてくれました。そのことを私は大変感謝しています。

私の日本滞在の最初は、とても刺激的で、少し困難でした。私はヨーロッパ風の食事をしていました。一か月間、私の胃は調子がよくありませんでした。しかし、少しずつ、

私は日本の食べ物や箸になれていきました。そして、それらはこれまでの習慣とずいぶん違いますが、なかなか味のあるものでした。

伝統的なものや、いろいろな装飾品をつけた日本女性を自分の目で見たのは初めてでした。日本では人々と自然がうまく協調していることに、私は大変驚きました。私は、多くの国民の祭典―たとえばフラワーフェスティバルや酒祭りなど―に参加することができました。それらのほとんどは、自然の変化や歴史的な習慣に関係があります。祭りの間、私は、日本人たちといつもとは違う肌のふれあいがあり、楽しく過ごしました。

神秘の国、日本

広 島では、多くの市民と関係ができました。私の友だちはおおらかで、やさしくて、とてもチャームングです。

ポーランドにいる時、私は「スモウ」について聞いていました。今、私は「スモウ」のファンです。私のひいきの「おすもうさん」は「たかのはな」です。

また、私が特に興味を持っているのは歌舞伎です。私は、歌舞伎の持つ芸術的な形式にひかれます。役者による昔風

の言葉。独特なコミュニケーションの方法、すばらしいパフォーマンスなどです。私はいつも、この国の人々が固有の価値を持ち続け、伝統を発掘していることに感心します。

日本は、すべての外国人にとって、大変興味深い国です。ここにいる間に、私は、この国についてできる限り多くのことを学びたいと思います。しかし、これまでのところ、私にとって日本はまだ……、神秘の国です。

プロフィール

私は、ポーランド人です。一九八四年にロシヤで教育大学を卒業しました。それからヴァルシャの特殊教育大学の先生になりました。

私の専門は、特別なニーズを持つ子どもたちです。それで、特殊教育学校の先生の教養を分担していました。四年前に博士の学位を得ました。

日本にいるとき、私は子どもたちに関する研究をするつもりです。

私の好きなスポーツは、バスケットボールとサッカーですが、日本に来たときは「スモウ」が一番好きです。